

平成22年9月28日(火)
国土交通省関東地方整備局
企 画 部

記者発表資料

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成22年度第3回）の開催結果について

関東地方整備局では、平成22年9月24日に、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価監視委員会を開催しましたので、審議結果をお知らせします。

- ・河川事業 再評価 - - - - - 1件の継続を了承
- ・道路事業 再評価 - - - - - 10件の継続を了承

なお、議事概要は、別紙1のとおりです。

※配付資料については、関東地方整備局ホームページでご覧下さい。

関東地方整備局ホームページ(<http://www.ktr.mlit.go.jp/>) → 募集・情報公開 → 公共事業の評価
URLダイレクト入力の場合 <http://www.ktr.mlit.go.jp/shihon/index00000018.html>

発表記者クラブ	
竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川建設記者会 茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、刀水クラブ 千葉県政記者会、東京都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ 山梨県政記者クラブ、長野県庁会見場、長野市政記者クラブ 長野市政記者会、横浜市政記者会、横浜ラジオ・テレビ記者会	
問い合わせ先	
国土交通省 関東地方整備局 TEL. 048-601-3151 (代表) 048-600-1329 (夜間直通)	
地方事業評価管理官	たなか よしあき 田中 良彰 (内線2118)
企画部企画課課長補佐	いいじま まさのり 飯島 正典 (内線3153)

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成22年度第3回）

議事概要

1. 日 時 平成22年9月24日（金）10:00～12:30

2. 場 所 グランドアーク半蔵門 4階 「富士（西）」

3. 出席者

[委員長]

家田 仁（東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻教授）

[委員]

秋山 哲一（東洋大学理工学部建築学科教授）

岡部 義裕（東京商工会議所常務理事）

佐々木 淳（横浜国立大学大学院工学研究院教授）

清水 義彦（群馬大学大学院工学研究科社会環境デザイン工学専攻教授）

堤 マサエ（山梨県立大学国際政策学部総合政策学科教授）

笠 京子（明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科教授）

（敬称略、五十音順）

[関東地方整備局]

局長 菊川、副局長 荒川、総務部長 本東、建政部長 永森、

河川部長 山田、道路部長 縄田、営繕部長 遠藤、用地部長 深澤 他

4. 議 事

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局長

(2) 審議

1) 再評価対象事業の概要説明

- ・ 関東地方整備局の河川事業1件、道路事業10件の概要説明

2) 審議

- ・ 特に重点的な審議を要する案件として4件選定された。
- ・ 事務局より説明された再評価対応方針（原案）は、了承する。

①再評価対象事業

(河川事業)

○利根川総合水系環境整備事業（霞ヶ浦環境整備） ----- 継続

(道路事業)

○中部横断自動車道（佐久南～八千穂） ----- 継続

○一般国道357号 東京湾岸道路（東京都区間） ----- 継続

一般国道1号 原宿交差点改良 ----- 継続

一般国道4号 古河小山バイパス ----- 継続

一般国道4号 小山石橋バイパス ----- 継続

一般国道6号 大和田拡幅 ----- 継続

一般国道17号 群馬大橋拡幅 ----- 継続

○一般国道20号 竜王拡幅 ----- 継続

一般国道50号 前橋笠懸道路 ----- 継続

一般国道246号 秦野IC関連 ----- 継続

○：特に重点的な審議を要する案件として選定された事業

<委員からの主な意見等>

(河川事業)

- ・ 霞ヶ浦の浚渫事業については、今後、直轄事業のみではなく、流域対策等其他事業の進捗状況についても事業評価の際に併せて説明すること。

(道路事業)

- ・ B/Cが1.0以上であるか否かだけで継続/中止を判断すべきではない。B/Cで表現できていない多様な整備効果についても審議の要点とすべきである。
- ・ 今後実施される事業においてもコスト縮減に取り組むこと。